

課題名	膵頭十二指腸切除の術後体重減少に関わる因子の検討
承認番号	2022-35 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 栄養課 氏名 手塚さおり
研究期間	(西暦) 2022 年 12 月 ~ (西暦) 2023 年 12 月
研究の意義・目的	膵頭十二指腸切除術は、消化管の切除・再建を伴う侵襲の大きい手術であり、術後 4 カ月で 9% の体重減少があると報告があります。 また、重度の体重減少を伴う膵臓癌術後患者さんは、特に体重減少を少なくするための栄養介入が重要視されています。 本研究では、膵頭十二指腸切除後の体重減少に関わる因子を明らかにし、体重減少のリスクが高い患者さんへ差別化した栄養介入を行うことを目的とします。
研究の方法 (対象期間含む)	2010 年 5 月から 2021 年 12 月に膵頭十二指腸切除術を行った患者さんのうち、術前・術後 1 カ月・3 カ月の体重測定を実施した患者さんを対象とし、後ろ向き横断研究を行います。 術後 3 カ月までの体重減少率を中央値で 2 群に分け、体重減少率が大きい群を体重減少群、少ない群を体重維持群とします。 年齢、性別、癌進行度(Stage)、体重、BMI、術後 1 カ月の体重減少率、併存症、術後合併症、PMI (Psoas muscle mass index)、GNRI (Geriatric Nutritional Risk Index)、mGPS (modified Glasgow Prognostic Score)、小野寺の PNI (Prognostic Nutritional Index)、入院期間、退院時の摂取エネルギー量、外来栄養指導の有無、ALB (血清アルブミン)、CRP の中で、体重減少に関わる因子を明らかにします。 *PMI : Psoas muscle mass index 筋肉量を示す指標 *GNRI : 高齢者の栄養評価法 *mGPS : がん予後予測因子としての栄養評価法 *小野寺の PNI : 術後合併症の発症を予測するための評価法 *ALB : 血清たんぱく質のうち最も多くを占め、栄養評価の指標となる *CRP : 体内での炎症や細胞・組織破壊が起こると血中に増加するたんぱく質
試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供される場合はその方法を含む)	利用目的 : 膵頭十二指腸切除を行った症例を抽出し、年齢、術前の筋肉量、体脂肪量、併存症、既往症、術後合併症の有無等、体重減少に関わる因子を検討するために使用します。本研究以外には使用しません。 利用方法 : 電子カルテから情報を抽出しデータとして集積、解析を行います。患者さん個人を認識する情報は削除し、研究用の番号を付けて匿名化します。
利用又は提供する試料・情報の項目	年齢、性別、癌進行度(Stage)、体重、BMI、体重減少率、併存症、術後合併症 PMI、GNRI、mGPS、小野寺の PNI、入院期間、退院時の摂取エネルギー量 外来栄養指導の有無、ALB、CRP
試料・情報を利用する者の範囲	栄養課 手塚さおり

試料・情報の管理における責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	栄養課 手塚さおり
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 栄養課 氏名 手塚さおり TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101